

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK NO. 10

BOOK は図書館のワクワクを皆さんにお伝えるメディアです。皆さんが図書館に感じるワクワクも教えて下さい。知らない人に教えてあげましょう。

2013年10月20日発行 隔月刊
発行 & 編集 = 山形村図書館

一冊始まるは、
一冊の本が、ら……

今号は、一冊の本から始まったおはなし。
本との出会いは、楽しい！
秋の読書週間、あなたはどんな本と出会ったろうから、
図書館は、楽しい企画が待っています



ほんの小さな種をまく

4年ぐらい前のお話です。

伊勢英子さんの『千の風、千のチェ
』だったでしょうか、音楽好きの
彼女に紹介した絵本は……。

阪神大震災の瓦礫の下でへしや
げてしまった心を、立て直すために
そのコンサートは開かれました。

淡い水彩の中から、躍動的なチエ
口の音が聞こえてきそうな作品で、
彼女はとても気に入ってくれまし
た。

その夏、穂高の「森のおうち」



という絵本美術館で伊勢さんの原
画展を開催していました。彼女は、
東京から遊びに来ていた義理の姉
を誘って観にいきました。義姉も伊
勢さんの作品をととても気に入り、「ル
リユールおじさん」の絵本を購入し
たそうです。

フランスのバリ。本の修理をする
職人さんを毎日仕事場に訪ね、ス
ケッチを重ねて描いた絵本です。

伊勢さんの絵本はなにかしら五

感を刺激します。絵本を開くとフ
ランスの風の香りを感じます。（行っ
たことないけどね……）

『ルリユールおじさん』はお土産と
して姪の手に渡りました。

姪も伊勢さんのとりこになり、ル
リユールおじさんの読書感想文を書
きました。そしてそれがコンクールで
優秀賞に輝きました。

伊勢英子さんとパートナーである
柳田邦夫（ノンフィクション作家）さ
んの講演会があり、義姉と姪は感
想文持参でサイン会の列に並びま
した。このことがきっかけで、姪の
感想文は柳田邦夫さんによって、ラ
ジオで朗読されたのだそうです。

図書館に行ったらどうしても報
告しなきゃと思つて。そういつて語っ
てくれたのが以上のお話。

1冊の本が豊かに実った物語で
す。わたしはほんの（本の）小さな
種をまいただけなのに……。

種まく仕事はとても素敵です。

心に残る詩

須永恵次選 図書館を挙げる会

震えるほどに共感出来る詩、あなた
の背中をそっと後押ししてくれる詩と
の出会いが、きつとあなたを幸せにし
てくれる。そんな詩を求めて……。

今回はB00K8号に続き、上田
敏の「海潮音」からの詩「落葉」。こ
のフランスの詩人ヴェルレエヌの詩は、
ブッセの「やまのあなた」とともに、
海潮音を代表する作品です。

「落葉」

ポール・ヴェルレエヌ（上田敏訳）

秋の日の

・ヴィオラの

ためいきの

身にしてみても

ひたぶるに

うら悲し。

鐘のおとに

胸ふたき

色かへて

涙ぐむ

過ぎし日の

おもひでや。

げにわれは

うらぶれて

こかしこ

さだめなく

とひ散らふ

落葉かな。

10月27日「日」〜11月9日「土」は、秋の読書週間。

図書館では、皆さんへのお楽しみを用意してお待ちしています。

① この秋は、「大人の おたのしみブック」

春のことも読書週間に「本の贈り物」企画をしたところ、大変好評でした。「大人のものはないの?」という声にお応えして……秋は、

春のことも読書週間に「本の贈り物」企画をしたところ、大変好評でした。「大人のものはないの?」という声にお応えして……秋は、

大人向けにおたのしみブックをご用意します。限定50冊。なかみはひみっつ。封を開けるワクワク感もプレゼント。
「○○あなたへ」と題して、本の中身を少し紹介しています。あの本かしら?とわかった人も、わからない人も、未知の本との出会いをお楽しみください。

今回は、図書館員が用意した本のほかに、利用者の皆さんの紹介文も交じっています。より広がりのある選書になっているはず。お楽しみに!!
② 松本山雅の選手
しおりプレゼント

昨年も好評だった松本山雅との共同企画です。
読書週間に本を借りられた方

に松本山雅の選手のしおりを差し上げます。

週替わりで選手の顔ぶれも変わるのので、たくさん本を読んで、読書のお供のしおりをゲットしてくださいね。

「ほっとたいむ」



ラカガキ屋Marioro
(イラストレーター 村内在住)
脂肪も燃やしたい……!!

「子どもというのは何か早く教えこんだりしてできるというものではない」

ジュニアスポーツの現場で長年指導をしていた中で、教えずきると創造性豊かなプレーができなくなる傾向がありました。

そんな時、息子の保育園がきっかけで読んだこの本の節に、脳の発達と絵について、小さな時にいろいろ描き方を

私のこの一冊

高橋秀友 図書館利用者



「生物の進化に学ぶ乳幼児期の子育て」
斎藤公子 著 / かがわ出版

教わった子どもは、不思議と前頭葉の部分、つまり創造する人間らしい脳の部分がなく……と書かれていました。
万、あれこれ教わることなく、思いきり遊んだ子どもの絵が、どんなに創造性豊かで素晴らしいことか!

この本には絵の他にも子育てのノウハウが詰まっています。生物の進化に学んだ子育てが、子どもの可能性を育てる上でとても役立つと思えます。

8.9月の貸出ベスト10

- 1位 教場／長岡弘樹
- 2位 昨夜のカレー、明日のパン／木血泉
- 3位 アスペルガーですが、妻で母で社長です。／アズ直子
- 4位 「動かない」と人は病む／大川弥生
- 5位 オレって老人？／南伸坊
- 6位 ちょっとそこまでひとり旅だれかと旅／益田ミリ
- 7位 民芸の教科書／萩原健太郎
- 8位 「やりがいのある仕事」という幻想／森博嗣
- 9位 ランチのアッコちゃん／柚木麻子
- 10位 ロスジェネの逆集／池井戸潤

今年もやります耳より企画

ナイトライブラリーのお知らせ

夜の図書館で、楽しいお話、ワクワクするお話に耳を傾けてみませんか？

「おはなしの会」のみなさんによる楽しいひとときを、お問い合わせしてお過ごしください。

- 日時：11月 15日(金) 21日(木) 27日(水)
- 夜7：30～8：10くらい
- 会場：山形村図書館
- 会費：無料です。
- 対象：夜なので、小学生以上。

編集&文：百瀬恵津子／
石川弘美／保坂一彦
デザイン：森の中のデザイン室

おねえさん、おすすめ新着本



「シロアリ 女王様その手がありましたか!」松浦健二
シロアリですが、研究者の道を行く筆者のキレのある文章に、くいと引き込まれます。



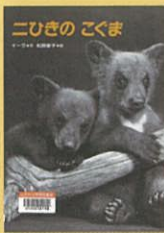
「アンのかご」村岡花子の生誕100周年記念
「赤毛のアン」の翻訳者「村岡花子」の生涯を孫娘がつづります。来春のNHKドキュメンタリーの前にもぜひ。



「ロッタちゃんとしてんしゅ」川上弘美
誕生日に自転車がもらえなかったロッタちゃんは、お隣の物置から大人用自転車をもちだして…。



「晴れたり 曇ったり」川上弘美
「目惚れはしないはずの筆者が突然恋に落ちたものはあの日から、責めない!と決めたものは?」川上ワールドに浸れます。



「二ひきのこくま」イーラ
表情豊かな野生のこくまの写真に、ビッタリのお話がつきました。



「消しゴムはんこのちよこつとアイデア」MIZUTAMA
カワイイデザインがいっぱい。お気に入りを見つけて、マイはんこを作ってみませんか?

図書館からお知らせ
村の皆さんのお楽しみ、秋の総合文化祭の図書館企画はコレ!

企画 ① リサイクルブック

図書館の除籍済みの本や雑誌、利用者の皆さんからの寄贈本を自由にお持ち帰りいただけます。今年も県立図書館から500冊の本をいただいています。掘り出しものが見つかるかも?

企画 ② 絵本バッグを作ろう!

絵本の表紙を使って、可愛い絵本バッグを作ります。持ち物なし。簡単にできるので気軽に参加してね
●日時：11月2日(土)、3日(日) 9時～5時